



目指す
児童像

し自然に親しむやさしい子
じ自分で学び考える子
き気力・体力を高める子
小将来の夢をめざす子

令和7年 4月 8日
平戸市立志々伎小学校
校長 山田 泰生
No. 53

始業式

昨日は始業式があり、3名の児童が発表しました。3人とも、堂々とした発表でした。いい声でした。内容を紹介します。

さい高にするぞ！

○○ ○○

今日から、複式での学校生活が始まりました。2年生までは教室に4人しかいなかったの、10人もいてうれしいです。これからの学校生活が楽しみです！

ぼくが3年生でがんばることは、二つあります。

一つ目は、国語です。ぼくは、問題をよく読まずに、読んだつもりになっていました。そうしたら先生に、

「問題をしっかり読まないと百点とれないよ。」

と言われたので、次からは百点取るぞと思い、百点を取るために問題をしっかり読んだり、見直しでもう一回ときなおしたりしました。そうしたら百点が取れたので、とびはねるくらいうれしかったです。だから3年生になっても続けます。

二つ目は、あいさつです。

ぼくは、いつも元気な声で誰よりも先にあいさつをしようと思っていました。だけど、相手に伝

わる声の大きさでのあいさつができませんでした。今日からは3年生なので、相手に元気をあたえるようなあいさつをします。

誰にでもやさしく、親切な3年生になります。

3年生でがんばること

○○ ○○

私は、3年生でがんばることが二つあります。

一つ目は、理科です。3年生で初めて理科をするので、どんな勉強をするのか楽しみです。実験や観察などがあると思うので、しっかり話を聞いて観察や実験をして、失敗ないようにしようと思います。

二つ目は、あいさつです。

私は、歩道のところでも職員室でも元気なあいさつが少しできていませんでした。でも教頭先生や地域の方、友達が大きな声を出していたので、私もうがんばります。早寝・早起き・朝ご飯を守って元気に登校し、いつでもどこでも元気なあいさつをして、みんなが元気になるようにします。

複式での学習や学校生活を楽しみながら、今日から3年生として一生懸命がんばります。



目指す 児童像

し自然に親しむやさしい子
じ自分で学び考える子
き気力・体力を高める子
小将来の夢をめざす子

令和7年 4月 8日
平戸市立志々伎小学校
校長 山田 泰生
No.54

すばらしい5年生になるために

○○ ○○

ぼくは、5年生になってがんばることが三つあります。

一つ目は、見直しをすることです。ぼくは、テストをする時、見直しをちゃんとしていなくて百点をのがすことがありました。だから、5年生になって、特に、まとめのテストで見直しをちゃんとして、百点を何回も取りたいです。

二つ目は、悪口を言わないことです。今までちょっとイライラした時、友達に悪口を言っていたので、5年生になったら、イライラしても友達に悪口を言いません。

三つ目は、委員会です。新しく図書委員会になったので、すぐにパソコンを使うのに慣れて、いろいろな人がたくさん本を借りることができるように、いろいろな工夫をしていきたいです。

これから、この三つのことをがんばっていききたいです。

私も校長講話の中で、次のように話しました。

皆さん、おはようございます。新学期の始まりを迎え、皆さんと一緒にこの日を迎えられたことを大変嬉しく思います。

さて、今年のめざす学校は、「子どもを鍛える学校」、「やりがいのある学校」、「笑顔いっぱいの学校」の3つにします。この3つを目標に先生方とみんなで頑張っていきます。今日は、その中の一つ、「笑顔いっぱいの学校」について話をします。

突然ですが、何がたくさんあれば、笑顔いっぱいの学校になるでしょうか？（ここで、3名の児童に発表してもらいました。）

ここで、2つの話をします。

まずは、コンビニのトイレに行ったときの話をします。その日、校長先生は、トイレに行きたくて行きたくてたまりませんでした。そのとき、やっとコンビニを見つけて、トイレを借りようと思いました。トイレに行くと、「掃除中」の黄色い看板が立ててありました。掃除している人に、「すみません、使わせてもらっていいですか？」と話しかけました。するとその人は怒った顔をして、「看板が見えないの！」と言われました。「すみませんでした。」と言い、そのコンビニを後にしました。なんだか、悲しくなって、トイレに行くのも忘れてしまいました。

(次号に続く)



志々伎小 学校だより「歓笑」

目指す 児童像

し自然に親しむやさしい子
じ自分で学び考える子
き気力・体力を高める子
小将来の夢をめざす子

令和7年 4月 8日
平戸市立志々伎小学校
校長 山田 泰生
No.55

また、ある日、コンビニによったとき、トイレに行きたくなりました。また、「掃除中」の看板がありました。嫌な思い出が頭の中をよぎります。しかし、勇気をもって、掃除している人に話しかけました。そうしたら、「どうぞどうぞ。」と言われました。とても嬉しくなり、帰りに、その人に「ありがとうございました。」と笑顔で話しかけました。その後、そのコンビニでたくさんのお菓子を買いしました。

もう一つは、バスケットの試合での話です。先生の子どもは、小学生の頃、バスケットをしていました。ある大会に参加したとき、誰もが知っている、とても有名なチームが来ていました。そのチームはとても強く、ある県の県大会で常にベスト4に入るチームでした。そのチームには、小学生ですが、校長先生と同じくらいの身長選手がいました。その子がたぶんエースでした。

試合を見ると、その子は、相手チームの徹底マークで、点数を入れることがなかなかできませんでした。そして、そのチームは負けました。試合が終わった後、監督らしき人から、その子は怒られていました。そして、「次の試合までにグラウンド100周走ってこい。」と言われていました。

そのことを聞いていたチームのメンバーが数名、その子の周りに集まってきました。そのうちの一人の子が、

「しょうがない。一緒に100周走ってやるよ」

と、その子を笑顔で励ましました。その子は、笑顔になり、友達と一緒に運動場に出て行きました。

皆さん、友達が困っているとき、叱られたとき、落ち込んでいるときに、どんな言葉を掛けますか？また、どんな行動をしますか？「自分のせいやろ」で済ませますか？それではあまりにも寂しいではありませんか。

相手の気持ちになって考え、行動する。分かっているもなかなかできませんよね。しかし、その、「思いやりのある行動」ができれば、「自然に親しむやさしい子」になり、志々伎小学校が「笑顔いっぱいの学校」になると、校長先生は思っています。

始業式の後に、〇〇先生と〇〇先生から話がありました。〇〇先生からは、「しじきっこの5つのめあて」について話がありました。〇〇先生からは、4月の保健目標や給食目標について話があり、子どもたちは真剣に聞いていました。